

まちづくり委員会事業計画

まちづくり委員会 委員長 横山 真明

水戸では近年甚大な厄災に見舞われ、より災害に対して危機感をもつことが必要であり、郷土愛を再認識する上でも、歴史ある文化財や自然豊かな魅力ある地域資源を守るという当事者意識を市民一人ひとりが高めることが求められています。速やかに立ち直ることのできる防災と減災の備えと知識を磨き、地域に対する誇りと愛情を育み、魅力ある地域資源を活かし伝えることのできる、次代に繋げていける官民一体のまちづくりが必要です。

まずは、災害への危機感をもって自分や周囲の命を守れる市民を増やすために、外部機関等と連携し、起こりえる災害を想定した発災の前後における心構えや備えについて、地域のために活動されている影響力や拡散力の高い市民と学び伝えることで、平常時から自助共助の精神で地域に協力し、発災しても被害を軽減できる、まち全体の防災と減災の意識向上に繋がります。そして、市内に点在する魅力ある資源について再認識し正しい知識をより深く得るために、水戸が誇る歴史や自然、芸術的な地域資源などを活用し歴史的意義や文化財としての知識のみならず、景観の素晴らしさ、地域にまつわる先人たちの足跡や精神を学ぶことで、市民が住み暮らす地域を誇りに思い郷土を愛する気持ちが育まれます。さらに、市内外から多様な人々が集い、情報発信の起点となるような魅力のある観光交流拠点を形成するために、行政や他団体と連携し、多くの人々が水戸の歴史や自然豊かな魅力を楽しみながら学び、県内外にも拡散力のあるソーシャルメディアを活用し発信することで、市民や来水される人々が水戸の魅力の価値を高め、広く伝えることができます。

市民一人ひとりが防災と減災についての見識が深く自らが率先垂範し災害に備え、水戸の魅力の価値を高めることができる郷土愛に溢れた市民が居住するまちは、多種多様な人々が集いさらに魅力が伝播する、官民一体となった活気のある持続可能なまちとなります。

<事業計画>

1. 防災減災力を磨く事業の開催
2. 郷土愛をもった市民で溢れるまちづくり
3. 現代技術と地域資源が融合した事業の開催